

春が来た、会合について思うこと (2015.3.1)

弥生3月、夜明けも早く日没も遅くなり、とつても得をした感じの良い季節ですね。

この冬の降雪は、全国規模で観るとかなり多かったようですが、地区限定では、『豪雪地帯尾花沢』がほとんど名を馳せなかったようです。

たまには、今回位で良いでしょう。

連日の降雪があまりなかったからだと思いますが、これからは、太陽のアタタカな恵みを遠慮なく頂き、雪解け水を地下に確保することですね。



1月最後の土日から2月の4回の土日のうち、2月7・8日を除いて全て東京に出向いておりました。

医師会の関係の研修会や講演会でした。

土日の開催には積極的に参加することにしております。内情を申しますと、この他にも週日に参加すべき会合は沢山有るのですが、診療が第一ですので、出来るだけご遠慮申し上げている次第です。

そのあおりが土日に集中となりますが、この忙しさが自らを元気づけ、新たな力を与えてくれるようです。

しかし、Web会議とかで行えば、全国各地から集まらなくても良い訳で、時間も費用も、また移動による危険性などのリスクを総合的に考えると、かなり安価に行えるのではないかと考えてしまいます。

何より疲労が何分の一かに減少しますから。

一日も早くそのような日が来ることに期待します。



平成27年3月 院長 清治 邦夫